1-5. 微生物材料開発室

Microbe Division / Japan Collection of Microorganisms

室長　辨野　義己

Yoshimi Benno

微生物は健康や環境に深く関わっており、ますますその重要性が増してきている。当室は1981年より微生物系統保存事業を推進し、世界で有数の微生物保存機関として認められている。現在、国内外の微生物研究開発の動向を捉えながら、健康や環境の研究に資する研究基盤用微生物の収集・品質管理・保存および提供業務を進めるとともに、微生物の保存・分類などの関連技術の開発を行い、これら微生物株を国内外の研究者や企業などに積極的に提供している。さらに健康・環境の研究に資する研究基盤用微生物の探索技術、複雑な微生物群集の多様性解析技術などの開発にも取り組んでいる。このような技術開発の展開と国内外の研究者・微生物保存機関の協力により、研究基盤用微生物の収集・品質管理・保存・提供に努力していく。

---

1. 微生物株寄託同意書 (MTA) に基づく新規微生物株の受託
2. 複数の方法（凍結・凍結乾燥）による微生物株の確実な保存
3. 保存微生物株の定期的検査、管理による精度の高い菌株の提供
4. 材料提供同意書 (MTA) に基づく微生物株の提供
5. バイオセフィテーレベル (BSL) 2 の微生物株の提供
6. 寄託された新規細菌・アーキアの基準株に対する認証の発行
7. 微生物株の取り扱い技術に関する研修事業の実施
8. 微生物材料データの公開（ホームページ、www.jcm.riken.jp の公開、カタログおよびニュースレターの定期発行）

職員とメンバー構成

室長	辨野　義己（平成 16 年 7 月～）	
開発研究員	小迫　芳正（平成 16 年 7 月～）	鈴木　基文（平成 16 年 7 月～）
	高島　昌子（平成 16 年 7 月～）	工藤　卓二（平成 16 年 7 月～）
	岡田　元（平成 16 年 7 月～）	伊藤　隆（平成 16 年 7 月～）
開発技師	大和田　勉（平成 16 年 7 月～）	
協力研究員	坂本　光央（平成 16 年 7 月～）	北原　真樹（平成 16 年 7 月～）
アシシタント	秋元 寿美子（平成 17 年 4 月～）	
共同研究員	長谷川 秀夫（平成 16 年 7 月～）	奥　恒行（平成 18 年 6 月～）
	松本　光晴（平成 18 年 4 月～）	林　秀謙（平成 18 年 4 月～）
	出来尾　格（平成 18 年 4 月～）	
訪問研究員	栗原　新（平成 19 年 4 月～）	
業務委託	草桶　加代（平成 16 年 7 月～）	都筑　智子（平成 16 年 7 月～）
	押田　裕美（平成 16 年 7 月～）	
委託研究生	佐久間　慶太（～平成 18 年 9 月）	丸尾　俊也（平成 16 年 11 月～）
	長沢　克紀（平成 19 年 4 月～）	Young-Tae Ahn（平成 18 年 11 月～）

研修生　池上　智則（平成 17 年 4 月～）　金山　喜好（平成 16 年 4 月～）
闢　祐太（平成 17 年 4 月～）　戸田　裕之（平成 17 年 4 月～）
仲田　竜一朗（平成 17 年 4 月～）　後藤　義幸（平成 17 年 4 月～）
小幡　高士（平成 17 年 4 月～）　長沢　克紀（～平成 19 年 3 月）

後列左から　鈴、押田、美濃輪、都筑、秋元、草桶、松本
遠藤、與口、大和田、坂本、岡野、藤川
岡田、工藤、小迫、辨野室長、鈴木、伊藤、高島

年次計画と成果

1. 研究基盤用微生物の収集・保存・提供事業計画

（1）研究基盤用微生物株の収集

当室は健康と環境の研究に資する研究基盤用微生物の収集・品質管理・保存・提供を行っている。この健康と環境の研究に資する研究基盤用微生物整備とは、①ヒトの健康維持・増進に関与しえる微生物、特に乳酸菌、放線菌、腸内細菌および酵母等の微生物株を整備すること。また、②環境のコントロールに関与しえる微生物として、極限環境微生物や好気性細菌や糸状菌を含む土壌微生物を精力的に整備することである。当室はこれまで微生物の収集方針として、研究推進に有効な微生物株を整備すること、特にその種の基準株を収集することに焦点を当ててきた。これは微生物学、微生物分類学の進展は基準株そのものの使用あるいはそれとの比較研究なしには実行されえないためである。

さらに、17、18 年度における収集菌株の約 70% 程度が寄託者からの「微生物株の寄託」となっている。その寄託菌株の大部分は細菌である。なぜなら新種提案において基準株が公的な微生物保存機関への寄託が義務づけられ、さらに微生物株保存機関が発行する「寄託菌株の認証」数に反映しており、その数は年々増加しており、認証発行株の総数はドイツの保存機関 DSMZ に次いで第 2 位になっている。また、公的な微生物株保存機関からも多くの微生物の基準株を無料交換し、確実な収集・保存・提供を行うことにしている。

（2）研究基盤用微生物株の保存・提供

平成 17 年度､新たに 656 株が登録された。年度末の総登録数は 12,571 株（細菌 5,049、

放線菌 2,780、アーキア 279、酵母 2,585、糸状菌 1,857、その他 21）であった。

平成 18 年度も引き続き収集・登録され、年度末の総登録数は 16,459 株（細菌 6,836、放線菌 3,258、アーキア 372、酵母 3,139、糸状菌 2388、その他 21）となっている。

2. 開発事業

当室では、研究基盤用微生物株の収集・保存・提供事業に密接に関連し、その事業の推進に役立つ技術の開発を行っている。

平成 17 ～ 18 年度は以下の技術開発を行った。

（1）新規研究基盤用細菌の収集とその探索技術開発

新規放線菌、新規アーキア・極限環境微生物、ヒト腸管由来新規 *Bacteroides* 属

ヒト口腔由来新規嫌気性細菌、新規非病原性好気性菌などの収集、探索およびその分類

（2）研究基盤用新規酵母および糸状菌リソースの収集とその探索技術開発

土壌由来新規酵母、新規耐熱性酵母および新規糸状菌類の収集、探索およびその分類

（3）微生物検査に関する技術開発

（i）分子生物学的手法による菌類の新しい分類指標の開発と評価

（ii）ゲノムプロフィリング法による病原性酵母の種同定および株識別への応用

（iii）培養を介さない手法によるヒトおよび動物の腸管由来微生物群集の多様性解析

（iv）16S rRNA 遺伝子よるヒトの口腔および腸管における偏性嫌気性菌の多様性解析

3. 研修事業

平成 17 年度より微生物株の取り扱い技術に関する研修事業を実施した。

平成 17 年 8 月、4 名の研修参加者に対して「絶対嫌気性微生物の培養・保存法に関する技術研修」について実施した。

同年 12 月、10 名の研修参加者に対して「T-RFLP 法による腸内細菌の多様性解析に関する技術研修」について実施した。

平成 19 年は 1 月に、微生物株の取扱い技術に関する研修を行った。

4. 東京大学分子細胞生物学研究所微生物カルチャーコレクション（IAM）の移管

東京大学分子細胞生物学研究所（旧：応用微生物学研究所）・微生物カルチャーコレクション（IAM）は 1953 年に設立され、多くの研究者の努力により長年に亘り微生物株 の収集・保存・提供事業を行い、我が国の微生物学の中核拠点として国際的にも認められてきた。収集・保存されている菌株の特徴は、東京大学の多くの研究者の研究成果物であり、それらは研究、教育および微生物産業に用いられている。ところが、応用微生物学研究所から分子細胞生物学研究所への改組に伴う運営方針の転換により、微生物株の管理が困難な状況となってきた。分子細胞生物学研究所、文科省と理研バイオリソースセンター（BRC）との協議を行い、我が国の貴重な知的資産である菌株（公開株および未公開株、約 4,500 株）を消滅させることなく今後も有効に利用するためには、菌株を BRC 微生物材料開発室（BRC-JCM）に移転することが望ましいとの合意を得た。これは、国内外の微生物保存機関のなかでも最も安定した微生物リソースの提供実績が認められたものである。IAM カルチャーコレクションは、速やかに BRC-JCM に移管を完了し、今年 4 月より、理研および国内外の微生物株利用者に、提供を開始している。

研究基盤用微生物株の保存と管理

1. 培養した微生物株の集菌

2. ガラスアンプルへの分注

3. 冷凍乾燥機
微生物を冷凍乾燥する

4. ガラスアンプルの熔封
冷凍乾燥後のガラスアンプルを真空状態で熔封する

5. アンプルキャビネット
微生物入りガラスアンプルを保管する

6. 提供用のガラスアンプル

7. 液体窒素タンク
1 台で微生物 7,000 株を収納できる

8. 液体窒素タンク
微生物入りクライオチューブを収納している
（気相、摂氏マイナス 172 度）

研究発表（誌上発表）　【原著論文】＊は査読制度のある論文

1. Ozutsumi Y., Hayashi H., Sakamoto M., Itabashi H., Benno Y.: “Culture-independent analysis of fecal microbiota in cattle.” Biosci. Biotechnol. Biochem. 69, 1793-1797 (2005).*

2. Sakamoto M., Umeda M., Ishikawa I., Benno Y.: “*Prevotella multisaccharivorax* sp. nov., isolated from human subgingival plaque.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 55, 1839-1843 (2005). *

3. Kitahara M., Sakamoto M., Ike M., Sakata S., Benno Y.: “*Bacteroides plebeius* sp. nov. and *Bacteroides coprocola* sp. nov., isolated from human faeces.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 55, 2143-2147 (2005). *

4. Singla A. K., Mayilraj S., Kudo T., Krishnamurthi S., Prasad G. S., Vohra R. M.: “*Actinoalloteichus spitiensis* sp. nov., a novel actinobacterium isolated from a cold desert of the Indian Himalayas.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 55, 2561-2564 (2005). *

5. Thawai C., Tanasupawat S., Itoh T., Suwanborirux K., Kudo T.: “*Micromonospora siamensis* sp. nov., isolated from Thai peat swamp forest.” J. Gen. Appl. Microbiol. 51, 229-234 (2005). *

6. Nakase T., Tsuzuki S., Lee F.-L., Jindamorakot S., Jan-ngam H., Am-in S., Potacharoen W., Tanticharoen M., Takashima M.: “*Sporobolomyces diospyroris* sp. nov., *Sporobolomyces lophatheri* sp. nov. and *Sporobolomyces pyrrosiae* sp. nov., three new species of ballistoconidium-forming yeasts in the *Agaricostilbum* lineage isolated from plants in Taiwan.” J. Gen. Appl. Microbiol. 51, 277-286 (2005). *

7. Hayashi H., Takahashi R., Nishi T., Sakamoto M., Benno Y.: “Molecular analysis of jejunal, ileal, caecal and rectosigmoidal human colonic microbiota using 16S rRNA gene libraries and terminal restriction fragment length polymorphism.” J. Med. Microbiol. 54, 1093-1101 (2005). *

8. Dekio I., Hayashi H., Sakamoto M., Kitahara M., Nishikawa T., Suematsu M., Benno Y.: “Detection of potentially novel bacterial components of the human skin microbiota using culture-independent molecular profiling.” J. Med. Microbiol. 54, 1231-1238 (2005). *

9. Tonooka T., Sakata S., Kitahara M., Hanai M., Ishizeki S., Takada M., Sakamoto M., Benno Y.: “Detection and quantification of four species of the genus *Clostridium* in infant feces.” Microbiol. Immunol. 49, 987-992 (2005). *

10. Jongrungruangchok S., Tanasupawat S., Kitakoop P., Bavovada R., Kobayashi H., Kudo T.: “Identification of *Streptomyces* and *Kitasatospora* strains from Thai soils with geldanamycin production strain.” Actinomycetologica 20, 10-14 (2006).*

11. Nakanishi Y., Murashima K., Ohara H., Suzuki T., Hayashi H., Sakamoto M., Fukasawa T., Kubota H., Hosono A., Kono T., Kaminogawa S., Benno Y.: "Increase in terminal restriction fragments of *Bacteroidetes*-derived 16S rRNA genes after administration of short-chain fructooligosaccharides." Appl. Environ. Microbiol. 72, 6271-6276 (2006).*

12. Salminen S., Benno Y., Vos W. M.: "International colonisation, microbiota, and future probiotics?" Asia Pac. J. Clin. Nutr. 15, 558-562 (2006).*

13. Yoshinari S., Itoh T., Hallam S. J., DeLong E. F., Yokobori S., Yamagishi A., Oshima T., Kita K., Watanabe Y.: "Archaeal pre-mRNA splicing: a connection to hetero-oligomeric splicing endonuclease." Biochem. Biophys. Res. Commun. 346, 1024-1032 (2006).*

14. Hashimoto K., Kawasaki H., Akazawa K., Nakamura J., Asakura Y., Kudo T., Sakuradani E., Shimizu S., Nakamatsu T.: "Changes in composition and content of mycolic acids in glutamate-overproducing *Corynebacterium glutamicum*." Biosci. Biotechnol. Biochem. 70, 22-30 (2006).*

15. Suezawa Y., Kimura I., Inoue M., Gohda N., Suzuki M.: "Identification and typing of miso and soy sauce fermentation yeasts, *Candida etchellsii* and C. *versatilis*, based on sequence analyses of the D1D2 domain of the 26S ribosomal RNA gene, and the region of internal transcribed spacer 1, 5.8S ribosomal RNA gene and internal transcribed spacer 2." Biosci. Biotechnol. Biochem. 70, 348-354 (2006).*

16. Matsumoto M., Benno Y.: "Anti-inflammatory metabolite production in the gut from the cosumption of probiotic yogurt containing *Bifidobacterium animalis* subsp. *lactis* LKM512." Biosci. Biotechnol. Biochem. 70, 1287-1292 (2006).*

17. Hayashi H., Sakamoto M., Kitahara M., Benno Y.: "Diversity of the *Clostridium coccoides* group in human fecal microbiota as determined by 16S rRNA gene library." FEMS Microbiol. Lett. 257, 202-207 (2006).*

18. Tomita S., Shirasaki N., Matsuyama J., Benno Y., Kiyosawa I.: "Growth behavior of *Clostridium perfringens* cells aggregated by bovine lactoferrin in the presence of lipoteichoic acid." Food Preserv. Sci. 32, 85-89 (2006).*

19. Maruo T., Sakamoto M., Toda T., Benno Y.: "Monitoring the cell number of *Lactococcus lactis* subsp. *cremoris* FC in human feces by real-time PCR with strain-specific primers designed using the RAPD technique." Int. J. Food Microbiol. 110, 69-76 (2006).*

20. Bakir M. A., Kitahara M., Sakamoto M., Matsumoto M., Benno Y.: "*Bacteroides intestinalis* sp. nov., isolated from human faeces." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 151-154 (2006).*

21. Ara I., Kudo T.: "Three novel species of the genus *Catellatospora*, *Catellatospora chokoriensis* sp. nov., *Catellatospora coxensis* sp. nov. and *Catellatospora bangladeshensis* sp. nov., and transfer of *Catellatospora citrea* subsp. *methionotrophica* Asano and Kawamoto 1988 to *Catellatospora methionotrophica* sp. nov., comb. nov. Int." J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 393-400 (2006).*

22. Bakir M. A., Kitahara M., Sakamoto M., Matsumoto M., Benno Y.: "*Bacteroides finegoldii* sp. nov., isolated from human faeces." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 931-935 (2006).*

23. Sakamoto M., Benno Y.: "Reclassification of *Bacteroides distasonis*, *Bacteroides goldsteinii* and *Bacteroides merdae* as *Parabacteroides distasonis* gen. nov., comb. nov., *Parabacteroides goldsteinii* comb. nov. and *Parabacteroides merdae* comb. nov." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 1599-1605 (2006).*

24. Bakir M. A., Sakamoto M. Kitahara M., Matsumoto M., Benno Y.: "*Bacteroides dorei* sp. nov., isolated from human faeces." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 1639-1643 (2006).*

25. Thawai C., Tanasupawat S., Itoh T., Kudo T.: "*Actinocatenispora thailandica* gen. nov., sp. nov., a new member of the family *Micromonosporaceae*." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 1789-1794 (2006).*

26. Kageyama A., Iida S., Yazawa K., Kudo T., Suzuki S., Koga T., Saito H., Inagawa H., Wada A., Kroppenstedt R. M., Mikami Y.: "*Gordonia araii* sp. nov. and *Gordonia effusa* sp. nov., isolated from patients in Japan." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 1817-1821 (2006).*

27. Tanasupawat S., Pakdeeto A., Namwong S., Thawai C., Kudo T., Itoh, T.: "*Lentibacillus halophilus* sp. nov., from fish sauce in Thailand. Int." J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 1859-1863（2006）.*

28. Pikuta E. V., Itoh T., Krader P., Tang J., Whitman W. B., Hoover R. B.: "*Anaerovirgula multivorans* gen. nov., sp. nov., a novel spore-forming, alkaliphilic anaerobe isolated from Owens Lake, California, USA." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 2623-2629 (2006).*

29. Lan P. T. N., Sakamoto M., Sakata S., Benno Y.: "*Bacteroides barnesiae* sp. nov., *Bacteroides salanitronis* sp. nov. and *Bacteroides gallinarum* sp. nov., isolated from chicken caecum." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 56, 2853-2859 (2006).*

30. Asami Y., Kakeya H., Okada G., Toi M., Osada H.: "RK-95113, a new angiogenesis inhibitor produced by Aspergillus fumigatus." J. Antibiot. 59, 724-728 (2006).*

31. Fungsin B., Takashima M., Sugita T., Artjariyasripong S., Potacharoen W., Tanticharoen M., Nakase T.: "*Bullera koratensis* sp. nov. and *Bullera lagerstroemiae* sp. nov., two new ballistoconidium-forming yeast species in the Trichosporonales clade isolated from plant leaves in Thailand." J. Gen. Appl. Microbiol. 52, 73-81 (2006).*

32. Gueimonde M., Sakata S., Kalliomaki M., Isolauri E., Benno Y., Salminen S.: “Effect of maternal consumption of *Lactobacillus* GG on transfer and establishment of fecal bifidobacterial microbiota in neonates.” J. Pediatr. Gastroenterol. Nutr. 42, 166-170 (2006).*

33. Hasegaw, H., Benno Y.: “Clinical evaluation of probiotic *Lactobacillus paracasei* A221 for standardizing ginseng-hydrolyzing potentials of human intestinal bacteria.” J. Trad. Med. 23, 42-46 (2006).*

34. Hosoya R., Yokoyama Y., Hamana K., Itoh T.: “Polyamine analysis within the eubacterial thirteen phyla *Acidobacteria*, *Actinobacteria*, *Chlorobi*, *Chloroflexi*, *Chrysiogenetes*, *Deferribacteres*, *Fibrobacteres*, *Firmicutes*, *Fusobacteria*, *Gemmatimonadetes*, *Nitrospirae*, *Planctomycetes*, and *Verrucomicrobia*.” Microbiol. Cult. Collect. 22, 21-33 (2006).*

35. Sakata S., Ryu C. S., Kitahara M., Sakamoto M., Hayashi H., Fukuyama M., Benno Y.: “Characterization of the genus *Bifidobacterium* by automated ribotyping and 16S rRNA gene sequences. Microbiol.” Immunol. 50, 1-10 (2006).*

36. Sugita T., Takashima M., Poonwan N., Mekha N.: “*Candida pseudohaemulonii* sp. nov., an amphotericin B- and azole-resistant yeast species, isolated from the blood of a patient from Thailand.” Microbiol. Immunol. 50, 469-473 (2006).*

37. Sakuma K., Kitahara M., Kibe R., Sakamoto M., Benno Y.: “*Clostridium glycyrrhizinilyticum* sp. nov., a glycyrrhizin-hydrolysing bacterium isolated from human faeces.” Microbiol. Immunol. 50, 481-485 (2006).*

38. Takahashi H., Fujita T., Suzuki Y., Benno Y.: “Monitoring and survival of *Lactobacillus gasseri* SBT2055 in human gut.” Microbiol. Immunol. 50, 867-870 (2006).*

39. Ibrahim F., Salminen S., Mykkanen H., El-Nezami H., Salminen E., Ma J., Ling W. H., Benno Y., Tahvonen R.: “Cadmium and lead elimination in young male Chinese students a probiotic intervention study.” Nutra foods 5, 5-9 (2006).*

40. Sakamoto M., Rocas I. N., Siqueira J. F. Jr., Benno Y.: “Molecular analysis of bacteria in asymptomatic and symptomatic endodontic infections.” Oral Microbiol. Immunol. 21, 112-122 (2006).*

41. 飯塚 尚峯、中井 雅之、辨野 義己：“*Lactobacillus acidophilus* FK205 との混合培養による *Helicobacter pylori* JCM 12093T 増殖抑制効果 ”、機能性食品と薬理栄養 3、483-488（2006）.*

42. 出川 洋子、柴沼 清、高野 勝、辨野 義己：“ コーンファイバー分解オリゴ糖投与によるラットの生理学的性状および盲腸内細菌叢に及ぼす影響 ”、日本食品科学工学会誌 53、48-54（2006）.*

43. 三ツ井 陳雄、梶本 修身、塚原 美央、村澤 久司、田村 正紀、西村 明、梶本 佳孝、辨野 義己：“*Bacillus subtilis* K-2 株（芽胞）含有納豆が健常成人の排便状態および糞便内菌叢に及ぼす影響ならびに過剰摂取による安全性の検討 ”、薬理と治療 34、135-148（2006）.*

44. Sakamoto M., Kitahara M., Benno Y.: “*Parabacteroides johnsonii* sp. nov., isolated from human faeces.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57, 293-296 (2007).*

45. Sakamoto M., Lan P. T. N., Benno Y.: “*Barnesiella viscericola* gen. nov., sp. nov., a novel member of the family *Porphyromonadaceae* isolated from chicken caecum.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57, 342-346 (2007).*

46. Pakdeeto A., Tanasupawat S., Thawai C., Moonmangmee S., Kudo T., Itoh T.: “*Lentibacillus kapialis* sp. nov., from fermented shrimp paste in Thailand.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57, 364-369 (2007).*

47. Burns D. G., Janssen P. H., Itoh T., Kamekura M., Li Z., Jensen G., Rodriguez-Valera F., Bolhuis H., Dyall-Smith M. L.: “*Haloquadratum walsbyi* gen. nov., sp. nov., the square haloarchaeon of Walsby, isolated from saltern crystallizers in Australia and Spain.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57, 387-392 (2007).*

48. Enache M., Itoh T., Kamekura M., Teodosiu G., Dumitru L.: “*Haloferax prahovense* sp. nov., an extremely halophilic archaeon isolated from a Romanian salt lake.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57, 393-397 (2007).*

49. Hayashi H., Shibata K., Sakamoto M., Tomita T., Benno Y.: “*Prevotella copri* sp. nov. and *Prevotella stercorea* sp. nov., isolated from human faeces.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57: 941-946 (2007).*

50. Hayashi H., Shibat, K., Bakir M. A., Sakamoto M., Tomita S., Benno Y.: “*Bacteroides coprophilus* sp. nov., isolated from human faeces.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57: 1323-1326 (2007).*

51. Tanasupawat S., Namwong S., Kudo T., Itoh T.: “*Piscibacillus salipiscarius* gen. nov., sp. nov., a moderately halophilic bacterium from fermented fish (pla-ra) in Thailand.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57: 1413-1417 (2007).*

52. Aizawa T., Ve N. B., Kimoto K., Iwabuchi N., Sumida H., Hasegawa I., Sasaki S., Tamura T., Kudo T., Suzuki K., Nakajima M., Sunairi M.: “*Curtobacterium ammoniigenes* sp. nov., an ammonia-producing bacterium isolated from plants inhabiting acidic swamps in actual acid sulfate soil areas of Vietnam.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57: 1447-1452 (2007).*

53. Hoshino Y., Watanabe K., Iida S., Suzuki S., Kudo T., Kogure T., Yazawa K., Ishikawa J., Kroppenstedt R. M., Mikami Y.: “*Nocardia terpenica* sp. nov., isolated from Japanese patients with nocardiosis.” Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57: 1456-1460 (2007).*

54. Ara I., Kudo T., Matsumoto A., Takahashi Y., Omura S.: "*Nonomuraea bangladeshensis* sp. nov. and *Nonomuraea coxensis* sp. nov." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57: 1504-1509 (2007).*

55. Pikuta E. V., Marsic D., Itoh T., Bej A. K., Tang J., Whitman W. B., Ng J. D., Garriott O. K., Hoover R. B.: "*Thermococcus thioreducens* sp. nov., a novel hyperthermophilic, obligately sulfur-reducing archaeon from a deep-sea hydrothermal vent." Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 57: 1612-1618 (2007).*

56. Ara I., Kudo T.: "Two new species of the genus *Micromonospora*: *Micromonospora chokoriensis* sp. nov. and *Micromonospora coxensis* sp. nov., isolated from sandy soil." J. Gen. Appl. Microbiol. 53: 29-37 (2007).*

57. Ara I., Kudo T.: "*Luedemannella* gen. nov., a new member of the family *Micromonosporaceae* and description of *Luedemannella helvata* sp. nov. and *Luedemannella flava* sp. nov." J. Gen. Appl. Microbiol. 53: 39-51 (2007).*

58. Nakayama H., Shimamura T., Imagawa T., Shirai N., Itoh T., Sako Y., Miyano M., Sakuraba H., Ohshima T., Nomura N., Tsuge H.: "Structure of a hyperthermophilic archaeal homing endonuclease, I-Tsp061I: contribution of cross-domain polar networks to thermostability." J. Mol. Biol. 365, 362-378 (2007).*

59. Matsumoto M., Benno Y.: "The relationship between intestinal microbiota and polyamine concentration in humans: A pilot study." Microbiol. Immunol. 51, 25-35 (2007).*

60. Matsumoto M., Kakizoe K., Benno Y.: "Comparison of fecal microbiota and polyamine concentration in adult patients with intractable atopic dermatitis and healthy adults." Microbiol. Immunol. 51, 37-46 (2007).*

61. Sakamoto M., Siqueira J. F. Jr., Rocas I. N., Benno Y.: "Bacterial reduction and persistence after endodontic treatment procedures." Oral Microbiol. Immunol. 22, 19-23 (2007).*

（総説）

1. 辨野 義己：" プロバイオティクスの機能研究 I. 培養を介さないヒト腸内菌叢の解析と展開 "、食品工業 48、20-26（2005）.

2. 辨野 義己：" プロバイオティク食品 "、成人病と生活習慣病 35、1010-1014（2005）.

3. 辨野 義己：" 腸内細菌の全容解明とプロバイオティクスの機能研究 "、日本食生活学会誌 16、194-200（2005）.

4. 辨野 義己：" 腸内環境コントロールの重要性 "、臨床栄養 107、270（2005）.

5. 辨野 義己:“腸内菌叢の多様性解析と腸内環境コントロール”、臨床栄養 107、270（2005）.

6. 辨野 義己：“「うんち」が語る腸の老化 ～カスピ海ヨーグルトとキレイな腸の関係～”、カスピ海ヨーグルト友の会会報誌 1、1-2（2005）.

7. 辨野 義己：“毎日のファイバースープで便がスルスル出る " ウンチ力 " がつき腸内環境も劇的に改善”、安心 23、90-91（2005）.

8. 辨野 義己:“プロバイオティクスの機能について教えて下さい”、治療 87、2867-2869（2005）.

9. 辨野 義己:“機能性ヨーグルトの効能”、8080（健康生活提案紙ハレバレ）夏号、5（2006）.

10. 辨野 義己：“おなかの中から健康を考える”、Kellogg's Update 85、1-4（2006）.

11. 辨野 義己：“プロバイオティクスの意義と役割”、アレルギーの臨床 26、827-832（2006）.

12. 辨野 義己:“腸内常在菌叢の多様性解析とその必要性”、メディカル・サイエンス・ダイジェスト 8 月号、373-379（2006）.

13. 辨野義己：“ターミナル RFLP 解析による腸内菌叢の遺伝子解析と疾患”、機能性食品と薬理栄養 3、295-301（2006）.

14. 辨野 義己：“おなかの中から健康を考える ～プロバイオティクス健康法～”、若さの栄養学 130、10-17（2006）.

15. 辨野 義己：“「うんち」は語る腸の老化 − 3 つのウンチ力で腸内環境を変えよう −”、小児歯科臨床 11、12-19（2006）.

16. 辨野 義己：“16SrDNA を指標としたヒト腸内常在菌叢の系統解析”、生体の科学 57、386-388（2006）.

17. 伊藤 隆：“リソースとしての好熱性アーキア”、生物の科学 遺伝 60、77-80（2006）.

18. 坂本 光央：“腸内フローラの構造解析 : T-RFLP 法を用いた腸内細菌叢の解析”、腸内細菌の分子生物学的実験法 1、114-118（2006）.

19. 岡田 元：“菌株保存事業の推進”、日本菌学会会報 47（S）、77-78（2006）.

20. 岡田 元:“糸状菌類の簡便で安全な凍結保存法”、日本微生物資源学会誌 22、105-110（2006）.

21. 辨野 義己：“新時代を迎えたプロバイオティクス－期待される機能研究の進展－”、乳酸菌ニュース 451、3-6（2006）.

22. 辨野 義巳、林 秀謙、松本 光晴：“プロバイオティクスによる腸内環境コントロール”、臨床と微生物 33、133-139（2006）.

（単行本）

1. Yabuuchi E., Kosako Y.: “*Sphingomonadaceae*. *In* Bergey's Manual of Systematic Bacteriology, 2nd ed., Vol. 2., Part C. The *Alpha*-, *Beta*-, *Delta*-, and *Epsilonproteobacteria*, eds. Brenner, D. J., Krieg, N. R., and Staley, J. T., Springer, East Lansing, 233 (2005).

2. Yabuuchi E., Kosako Y.: Sphingomonadales ord. nov. In Bergey's Manual of Systematic Bacteriology, 2nd ed., Vol. 2., Part C. The Alpha-, Beta-, Delta-, and Epsilonproteobacteria, eds. Brenner, D. J., Krieg, N. R., and Staley, J. T., Springer, East Lansing, p. 230-233 (2005).

3. Yabuuchi E., Kosako Y.: Sphingomonas. In Bergey's Manual of Systematic Bacteriology, 2nd ed., Vol. 2., Part C. The Alpha-, Beta-, Delta-, and Epsilonproteobacteria, eds. Brenner, D. J., Krieg, N. R., and Staley, J. T., Springer, East Lansing, p. 234-258 (2005).

4. Itoh T.: Isolation and preservation of thermophiles and halophiles. In Microbial Wonders in Special Environments, ed. The Philippine Network of Microbial Culture Collections, Quezon, p. 5-10 (2005).

5. Bloom M. L., Monsalud R. G. Itoh, T.: Culture preservation techniques. In Microbial Wonders in Special Environments, ed. The Philippine Network of Microbial Culture Collections, Quezon, p. 18-24 (2005).

6. 工藤 卓二：“放線菌”、清水 昌、堀之内 末治 編「応用微生物学 第 2 版」、文永堂出版、31-36（2006）.

7. 伊藤 隆：“古細菌”、清水 昌、堀之内 末治 編「応用微生物学 第 2 版」、文永堂出版、36-40（2006）.

8. 辨野 義己：“ダイエットの決定版ともいえるさつまいもヨーグルトは便通をよくして大腸ガンなども防ぐ”、相場 静子 編「スキムミルクヨーグルトでやせる！きれいになる!」、主婦の友社、48-49（2005）.

9. 辨野 義己：“ネバリ３兄弟は，腸管免疫を高め，便秘を解消。腎臓・肝臓を守り，ガンも予防する”、「健康」、主婦の友社、34-35（2005）.

10. 辨野 義己：“ウンチは人格だ！ウンコミュニケーション BOOK”、ぱる出版、1-191（2006）.

11. 辨野 義己：“うんこを読み解く”、自由国民社 編「現代用語の基礎知識 2007」、自由国民社、1572-1573（2006）.

12. 辨野 義巳：“乳酸菌・ビフィズス菌の定義と分類、およびプロバイオティクスとしての機能”、「乳酸菌・ビフィズス菌による健康の維持と増進」、全国はっ酵乳乳酸菌飲料協会、1-12（2006）.

研究発表（学会発表）【国際会議等】

1. Dekio I., Sakamoto M., Hayashi H., Amagai M., Suematsu M., Benno Y.: “Characterization of skin microbiota in atopic and normal subjects using 16S rRNA gene-based comprehensive analyses.” The 21st Century COE Young Scientist Workshop 2005 in Shonan - Understanding and Control of Life's Function via Systems Biology, Hayama, Japan, Sep. (2005).

2. Tomita S., Uotani T., Sueki N., Fujimoto K., Matsuyama J., Benno Y.: “Promotional effect of bovine lactoferrin on the growth of bifidobacteria and their mechanism.” 7th Int. Conf. on Lactoferrin: Structure, Function and Applications, Honolulu, USA., Oct. (2005).

3. Okada G.: “ Toward establishing the unique filamentous fungus collection at RIKEN BRC-JCM.” Memorial Int. Symp. "Current status, strategy and future prospects of microbial resources in BRCs", Tokyo, Japan, Oct. (2005).

4. Itoh T.: “Approach to new bioresources: thermophilic archaea.” Memorial Int. Symp. "Current status, strategy and future prospects of microbial resources in BRCs", Tokyo, Japan, Oct. (2005).

5. Takashima M.: “From culture collection to BRC: Recent changes in procedures and perspective and perspective.” Memorial Int. Symp. "Current status, strategy and future prospects of microbial resources in BRCs", Tokyo, Japan, Oct. (2005).

6. Suzuki M.: “Quest for novel yeast resources from plants, terrestrial soils and the related invertebrates.” Memorial Int. Symp. "Current status, strategy and future prospects of microbial resources in BRCs", Tokyo, Japan, Oct. (2005).

7. Kudo T.: “Aerobic actinomycete collection: Features and aims.” Memorial Int. Symp. "Current status, strategy and future prospects of microbial resources in BRCs", Tokyo, Japan, Oct. (2005).

8. Kosako Y.: “Gram negative bacterial collection including bacteria classified in BSL2.” Memorial Int. Symp. "Current status, strategy and future prospects of microbial resources in BRCs", Tokyo, Japan, Oct. (2005).

9. Benno Y.: “BRC-JCM is the base of resources of lactic acid bacteria and anaerobes.” Memorial Int. Symp. "Current status, strategy and future prospects of microbial resources in BRCs", Tokyo, Japan, Oct. (2005).

10. Itoh T.: “Isolation and preservation of thermophiles and halophiles.” 5th Annual Symp. and General Assembly: Microbial Wonders in Special Environments, Quezon, Philippine, Nov. (2005).

11. Yoshikawa N., Ito T., Takashina T.: “Diversity of thermophilic archaea isolated from the hot spring Unzen and Obama in Japan.” Int. Symp. on Extremophiles and Their Applications, Tokyo, Japan, Nov. (2005).

12. Enache M., Ito T. and Kamekura M.: “*rpoB'*-Based systematic phylogeny analysis of haloalkaliphilic archaea.” Int. Symp. on Extremophiles and Their Applications, Tokyo, Japan, Nov. (2005).

13. Benno Y.: “New probiotic effect of bifidobacteria for human health.” 2006 Int. Meet. of the Microbiological Society of Korea, Daejon & Daegu, Korea, May (2006).

14. Benno Y., Hayashi H., Matsumoto M.: “Culture-independent analysis of human colonic microbiota.” 3rd Japan-Finland Biotechnology Symp., Parainen, Finland, Aug. (2006).

15. Takashima M.: “Inter-and intra-species diversity of ballistoconidium-forming yeasts and related taxa.” 8th Int. Mycological Congr., Cairns, Australia, Aug. (2006).

16. Hosoya T., Doi Y., Kakishima M., Hattori T., Degawa Y., Katumoto K., Maekawa N., Tsuda M., Fukiharu T., Okada G., Kiyuna T., Sugiyama J.: “A united database of fungal specimens in Japan.” 8th Int. Mycological Congr., Cairns, Australia, Aug. (2006).

17. Okada G., Tanaka K., Huang J.-W., Chang H.-S., Kakishima M.: “Synnematous fungi from Taiwan（1）, 8th Int. Mycological Congr., Cairns, Australia, Aug. (2006).

18. Okada G., Seifert K. A.: “The anamorph of *Amphiporthe aculeans*, a pathogen of sumac and other *Rhus* species.” 8th Int. Mycological Congr., Cairns, Australia, Aug. (2006).

19. Seifert K. A., Wilhelm de B. Z., Breuil C., Alamouti S. M., Masuya H., Okada G., Uzunovic A., Yamaoka Y.: “Taxonony, phylogeny and nomenclature of the *Ophiostoma piceae* morphological species complex.” IMC8 Workshop 1: Ophiostomatoid fungi: Expanding Frontiers / 8th Int. Mycological Congr., Brisbane, Australia, Aug. (2006).

20. Tanaka K., Okada G.: “Useful methods for inducing anamorph/teleomorph(s) in culture.” IMC8 Workshop 7: AnaSat2: From Spore to Culture / 8th Int. Mycological Congr., Cairns, Australia, Aug. (2006).

21. Okada, G.: “Simple and safe methods for the cryopreservation and transport of fungal cultures.” IMC8 Workshop 7: AnaSat2: From Spore to Culture / 8th Int. Mycological Congr., Cairns, Australia, Aug. (2006).

22. Dekio I., Sakamoto M., Hayashi H., Tanikawa A., Sakuraoka K., Ebihara T., Amagai M., Suematsu M., Benno Y.: “Characterization of skin microbiota in patients with atopic dematitis and nornal subjects using 16S rRNA gene-based comprehensive analysis.” European Society for Dermatological Research 36th ESDR, Paris, France, Sept. (2006).

23. Ikegami T., Takashina T., Itoh T.: “Characterization of two new thermophilic archaeal isolates that represent a new lineage in the order *Sulfolobales*.” The 6th Int. Congr. on Extremophiles, Brittany, France, Sep. (2006).

24. Benno Y.: “Culture-independent analysis of human gut microbiota and new functions of probiotics.” Valio Generalia Aboensis, Turku, Finland, Sep. (2006).

25. Benno Y.: “RIKEN BioResource Center - Japan Collection of Microorganisms: Perspectives and challenges.” The 18th Annual Meet. of the Thai Society for Biotechnology, Bangkok, Thailand, Nov. (2006).

26. Itoh T.: “Expanding microbial resources in Asia: Archaea and extremophiles.” The 18th Annual Meet. of the Thai Society for Biotechnology, Bangkok, Thailand, Nov. (2006).

27. Kudo T.: “Actinomycete collection at RIKEN BRC-JCM and development of actinomycete resources in collaboration with Asian countries.” The 18th Annual Meet. of the Thai Society for Biotechnology, Bangkok, Thailand, Nov. (2006).

28. Takashima M.: “Prospects between Thailand and RIKEN BRC-JCM in yeast systematics: focusing on quality management as an intellectual foundation for life sciences.” The 18th Annual Meet. of the Thai Society for Biotechnology, Bangkok, Thailand, Nov. (2006).

（国内学会等）

1. 辨野 義己：“見えてきた腸内常在菌の全貌とプロバイオティクスの機能”、第 2 回サプリメント研究会、岐阜、9 月（2005）.

2. 坂本 光央：“バイオフィルム微生物叢の多様性”、第 47 回歯科基礎医学会、仙台、9 月（2005）.

3. 林 秀謙、阿部 貴志、坂本 光央、池村 淑道、粟冠 和郎、辨野 義己：“ヒト糞便より直接クローニングした新規キシラナーゼの解析”、日本応用糖質科学会 2005 年度大会・第 13 回糖質関連酵素化学シンポジウム、津、9 月（2005）.

4. 林 秀謙、辨野 義己：“ 分子生物学的手法によるヒトの腸管内由来の新規キシラナーゼの解析 ”、日本応用糖質科学会 2005 年度大会・第 13 回糖質関連酵素化学シンポジウム、津、9 月（2005）.

5. 辨野 義己：“ 腸内細菌プロファイル − 見えてきた腸内細菌叢の全貌 ”、日本食生活学会、千葉、9 月（2005）.

6. 坂田 慎治、辨野 義己：“ 培養を介さないヒト腸内菌叢の多様性解析 ”、第 13 回日本消化器関連学会、神戸、10 月（2005）.

7. 安藤 郎、辻川 知之、坂田 慎治：“ ヒト潰瘍性大腸炎の腸内細菌 T-RFLP プロファイル ”、第 13 回日本消化器関連学会、神戸、10 月（2005）.

8. 辨野 義己：“ 見えてきた腸内細菌の全容 ”、第 1 回茨城泌尿器セミナー、つくば、10 月（2005）.

9. 高島 昌子、辨野 義己、小幡 裕一：“ 理研バイオリソースセンター JCM における Material Transfer Agreement（MTA）への取り組み − 権利と義務の明確化 ”、第 49 回日本医真菌学会総会、千葉、10 月（2005）.

10. 辨野 義己：“ 腸内細菌と腸年齢 − プロバイオティクス健康法、食と健康フォーラム − 腸能力アップで健康づくり ”、富山、11 月（2005）.

11. 岡田 元、出川 洋介、黄 振文、張 和喜、柿嶌 眞：“ 台湾産菌類 : 接合菌類 1（*Cokeromyces recurvatus* & *Modicella malleola*）”、第 25 回日本微生物系統分類研究会年次大会、東京、11 月（2005）.

12. 柴田 健作、林 秀謙、坂本 光央、冨田 信一、辨野 義己：“ ヒト腸内より分離された *Prevotella* 属の新菌種について ”、第 25 回日本微生物系統分類研究会年次大会、東京、11 月（2005）.

13. Bakir M. A., Kitahara M., Sakamoto M., Matsumoto M., Benno Y: “Bacteroides intestinalis sp. nov. and Bacteroides finegoldii sp. nov., isolated from human feces”、第 25 回日本微生物系統分類研究会年次大会、東京、11 月（2005）.

14. 伊藤 隆：“ 遺伝子資源としての新規超好熱性アーキアの多様性と特徴 ”、第 28 回日本分子生物学会年会、福岡、12 月（2005）.

15. 坂本 光央：“ 口腔細菌の分子生態 ”、日本放線菌学会・日本微生物資源学会ジョイントシンポジウム、東京、2 月（2006）.

16. 林 秀謙、坂本 光央、辨野 義己：“ 健康成人のヒト糞便より分離された *Prevotella* 属の新菌種の提唱 ”、第 79 回日本細菌学会、金沢、3 月（2006）.

17. 小迫 芳正：“ 系統的に *Stenotrophomonas* 属に近縁の *Pseudomonas* 属菌種の再分類 ”、第 79 回日本細菌学会総会、金沢、3 月（2006）.

18. 丸尾 俊也、坂本 光央、戸田 登志也、辨野 義己：“RAPD 法により設計した *Lactococcus lactis* subsp. *cremoris* FC 株特異的プライマーを用いたリアルタイム PCR によるヒト糞便中の FC 株の定量 ”、日本農芸化学会 2006 年度大会、京都、3 月（2006）.

19. 長谷川 拓生、橋本 賢一、松原 望美、大槻 裕規、櫻谷 英治、工藤 卓二、川崎 寿、清水 昌、中松 亘：“ グルタミン酸を過剰生成しているコリネ型細菌の脂肪酸及びミコール酸組成と含量の変化 ”、日本農芸化学会 2006 年度大会、京都、3 月（2006）.

20. 高島 昌子、杉田 隆、辨野 義己、中瀬 崇：“*Cryptococcus* sp. M9962 の酸性環境における生育 ”、日本農芸化学会 2006 年度大会、京都、3 月（2006）.

21. 小田巻 俊孝、清水 金忠、近藤 しずき、坂本 光央、宮地 一裕、岩附 慧二、辨野 義己：“ スギ花粉症患者の腸内細菌叢変動に対する *Bifidobacterium longum* BB536 の抑制効果 ”、日本農芸化学会 2006 年度大会、京都、3 月（2006）.

22. 池上 智則、伊藤 隆、高品 知典：“ 東北地方の温泉より分離した好熱性アーキアの系統分類学的研究 ”、日本農芸化学会 2006 年度大会、京都、3 月（2006）.

23. 金山 喜好、川崎 寿、辨野 義己、鈴木 基文：“*Geotrichum* 属酵母の 2 新種および 1 新変種について ”、日本農芸化学会 2006 年度大会、京都、3 月（2006）.

24. 井手 美世香、宇佐美 論、辨野 義己、鈴木 基文：“ ミミズおよび土壌からの酵母リソースの探索 ”、日本農芸化学会 2006 年度大会、京都、3 月（2006）.

25. 丸尾 俊也、坂本 光央、戸田 登志也、辨野 義己：“RAPD 法により設計した *Lactococcus lactis* subsp. *cremoris* FC 株特異的プライマーを用いたリアルタイム PCR によるヒト糞便中の FC 株の定量 ”、プロバイオティクスシンポジウム '06、東京、4 月（2006）.

26. 松本 光晴、辨野 義己：“ 腸内ポリアミン濃度と腸内菌叢の関連性： pilot study”、プロバイオティクスシンポジウム '06、東京、4 月（2006）.

27. 坂本 光央、辨野 義己：“ 分子生物学的手法による無症候性および症候性根尖性歯周炎に関与する細菌叢の解析 ”、第 49 回春季日本歯周病学会学術大会、市川、4 月（2006）.

28. 岡田 元、黄 振文、張 和喜、曽 顕雄、柿嶌 眞、関 達治: “ 台湾と日本のハイファル - ブリッジ : *Cladosporium colocasiae* Sawada を例として ”、平成 18 年度日本菌学会関東支部年次大会、町田、4 月（2006）.

29. 小田巻 俊孝、清水 金忠、近藤 しずき、坂本 光央、宮地 一裕、岩附 慧二、辨野 義己: “ スギ花粉症患者の腸内細菌叢変動に対する *Bifidobacterium longum* BB536 の抑制効果 ”、第 10 回腸内細菌学会、東京、6 月（2006）.

30. 岡田 元、細矢 剛、出川 洋介: “ 丹沢産微小菌類: 分生子柄束形成菌類ならびに関連菌（1）”、日本菌学会 50 周年記念大会、千葉、6 月（2006）.

31. Ara ., Kudo T: “Rare genera of actinomycetes in rhizosphere soils of marine, mangrove and medicinal plants of Bangladesh”、日本微生物資源学会第 13 回大会、和光、6 月（2006）.

32. 吉川 直人、高品 知典、伊藤 隆： “radA 遺伝子に基づく好熱性アーキア *Vulcanisaeta* 属及び関連属の系統学的多様性について ”、日本微生物資源学会第 13 回大会、和光、6 月（2006）.

33. 坂本 光央、辨野 義己： “ 新属 *Parabacteroides* の提唱 ”、日本微生物資源学会第 13 回大会、和光、6 月（2006）.

34. Bakir M. A., Kitahara M., Sakamoto M., Matsumoto M., Benno Y: “*Bacteroides intestinalis* sp. nov., *Bacteroides finegoldii* sp. nov. and *Bacteroides dorei* sp. nov., isolated from human feces”、日本微生物資源学会第 13 回大会、和光、6 月（2006）.

35. 佐久間 慶太、北原 真樹、坂本 光央、奥 幸夫、野口 直人、寺田 澄男、辨野 義己： “ 菌種特異的プライマーを用いたヒト糞便内グリチルリチン代謝 *Clostridium glycyrrhizinilyticum* の定性・定量解析 ”、第 23 回和漢医薬学会大会、岐阜、8 月（2006）.

36. 長谷川 秀夫、辨野 義己： “ バイオテクノロジー（プロバイオティクス）による、植物成分の腸内代謝機能の修飾 ”、第 23 回和漢医薬学会大会、岐阜、8 月（2006）.

37. 吉川 直人、高品 知典、伊藤 隆： “*Vulcanisaeta* 属及び関連属の *radA* 遺伝子に基づく系統学的関係について ”、日本 Archaea 研究会第 19 回講演会、福岡、8 月（2006）.

38. 坂本 光央： “ 分子生物学的手法による無症候性および症候性根尖性歯周炎に関与する細菌叢の解析 ”、第 48 回歯科基礎歯学会学術大会、横浜、9 月（2006）.

39. 辨野 義己： “ 見えてきた腸内細菌叢の全容と機能、第 9 回日本臨床腸内微生物学会学術集会 ”、東京、9 月（2006）.

40. 辨野 義己：“おなかの中から健康を考える”、カスピ海ヨーグルトフォーラム、仙台、10月（2006）.

41. 辨野 義己：“プロバイオティクスによる腸内環境コントロールこそ健康の源”、「プロバイオティクス乳酸菌の新しい力」～免疫力と腸内環境の関係～、東京、10月（2006）.

42. 辨野 義己：“「うんち」は語る腸の老化－3つのウンチ力で腸内環境を変えよう－”、新座市東北コミュニティセンター主催事業環境講座、新座、10月（2006）.

43. 真柳 弦、木村 基、八巻 恵子、伊藤 康博、南渕 麻衣子、中谷 清吾、平田 晴久、坂本 光央、辨野 義己、島内 英俊：*Lactobacillus salivarius* WB21 配合サプリメントが歯周組織に及ぼす影響の検討．第2報．細菌学的パラメーターに及ぼす影響”、第49回秋季日本歯周病学会学術大会、大阪、10月（2006）.

44. 辨野 義己：“おなかの中から健康を考える－3つのウンチ力で便秘解消!”、朝日カルチャーセンター、東京、10月（2006）.

45. 辨野 義己：“見えてきた腸内菌叢の全容－腸内菌叢に及ぼす食事成分の影響”、第11回日本食物繊維学会、横浜、11月（2006）.

46. 辨野 義己：“「うんち」は語る腸の老化－3つのウンチ力で腸内環境コントロール－”、第22回全国トイレシンポジウム - 第1回トイレパワー全国大会 -、遠野、11月（2006）.

47. 池上 智則、高品 知典、伊藤 隆：“*Salfolobales* 目において新しい系統関係を示す好熱性アーキア 2. 分離株の系統分類学的研究”、第7回極限環境微生物学会、東京、11月（2006）.

48. 伊藤 隆：“理研バイオリソースセンターにおけるアーキア・極限環境細菌のリソース事業について”、第7回極限環境微生物学会、東京、11月（2006）.

49. 辨野 義己：“大腸は病気の発信源－見えてきた腸内細菌の全容－”、第4回日本予防医学会、大宮、12月（2006）.

50. 佐野 玄樹、田中 和明、畠山 聡、原田 幸雄、佐野 輝男、細矢 剛、岡田 元、黄 振文、張 和喜、柿嶌 眞：“*Pseudolachnella* 属とその関連属の分類に関する研究”、日本植物学会東北支部第19回青森大会、弘前、12月（2006）.

51. 米澤 洋朗、田中 和明、佐野 輝男、細矢 剛、岡田 元、黄 振文、張 和喜、柿嶌 眞：“複雑な形態の分生子をもつ不完全菌類の形態学的研究と rDNA による系統推定”、日本植物学会東北支部第19回青森大会、弘前、12月（2006）.

52. 弘 佑介、田中 和明、佐野 輝男、細矢 剛、岡田 元、黄 振文、張 和喜、柿嶌 眞：“ 分子系統解析によって明らかになった *Berkleasmium* 関連菌類の多様な系統 ”、日本植物学会東北支部第 19 回青森大会、弘前、12 月（2006）.

53. 辨野 義己：“ プロバイオティクス機能研究に寄与する腸内菌叢解析技術の進展 ”、第 40 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会、横浜、1 月（2007）.

54. 坂本 光央：“ 分子生物学的手法による口腔細菌叢の解析 ”、日本フローラテック研究会第 1 回学術集会、和光、2 月（2007）.

55. Ara I., Takahashi Y., Matsumoto A., Kudo T., Omura S.: “Distribution of novel genera of rare actinomycetes and polyphasic taxonomy of *Pseudosporangium ferruginea* gen. nov., sp. nov., a new member of the family *Micromonosporanceae*”、2007 年度日本放線菌学会大会、尾道、5 月（2007）.

56. 坂本 光央、Lan P. T. N.、辨野 義己：“ 新属 *Barnesiella* の提唱 ”、日本微生物資源学会第 14 回大会、札幌、6 月（2007）.

57. 關 祐太、高品 知典、伊藤 隆：“*Vulcanisaeta* 属菌株における生息地の分布と遺伝学的多様性に関する考察、日本微生物資源学会第 14 回大会、札幌、6 月（2007）.

58. Bakir M. A., Kudo T., Benno Y.: “*Microbacterium hatanonis* sp. nov.、isolated as a contaminant of hair mist”、日本微生物資源学会第 14 回大会、札幌、6 月（2007）.